



2025年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年9月9日

上場会社名 株式会社アスカネット 上場取引所 東
コード番号 2438 URL <https://www.asukanet.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 雄司
問合せ先責任者(役職名) 専務取締役CFO (氏名) 功野 顕也 (TEL) 082-850-1200
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年4月期第1四半期の連結業績(2024年5月1日~2024年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年4月期第1四半期	1,710	—	△25	—	△25	—	△23	—
2024年4月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年4月期第1四半期 △20百万円(—%) 2024年4月期第1四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年4月期第1四半期	△1.42	—
2024年4月期第1四半期	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、2024年4月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年4月期第1四半期の数値及び前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年4月期第1四半期	百万円 6,591	百万円 5,821	% 88.3
2024年4月期	7,090	6,156	86.8

(参考) 自己資本 2025年4月期第1四半期 5,821百万円 2024年4月期 6,156百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年4月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 7.00	円 銭 7.00
2025年4月期	—	—	—	—	—
2025年4月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年4月期の連結業績予想(2024年5月1日~2025年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,720	9.7	520	16.2	535	12.9	324	51.4	19.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年4月期1Q	17,464,000株	2024年4月期	17,464,000株
② 期末自己株式数	2025年4月期1Q	1,347,146株	2024年4月期	1,007,057株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年4月期1Q	16,323,879株	2024年4月期1Q	16,570,421株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の数値は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、2024年4月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、経済活動の正常化や雇用・所得環境の改善が進み、また旺盛なインバウンド需要の増加などにより、景気は緩やかに持ち直している一方で、円安を背景とした原材料価格やエネルギー価格の高騰、不安定な海外情勢による下振れ懸念などにより、先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような環境の中、当社は、景気動向に左右されにくい葬祭市場に対し、遺影写真等画像映像のデジタル加工や通信出力サービスを主に提供するフューネラル事業、1冊から本格的写真集という新しい写真のアウトプット手法を提案するフォトブック事業、空中結像という今までにないユニークな技術で、新しい市場を創造し、夢の実現を目指す空中ディスプレイ事業、それぞれに位置づけや特色が異なる三つの事業を展開してまいりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。各セグメントの業績数値にはセグメント間の内部売上を含んでおります。

(フューネラル事業)

当事業におきましては、自社営業による新たな葬儀社との契約獲得が順調に進んだため、主力である遺影写真加工サービスは堅調に伸びました。また、遺影写真出力システムやサイネージ機器などハード売上が好調に推移いたしました。

5月に開催された展示会「フューネラルビジネスフェア」に出展し、葬儀社向けDXサービス「tsunagoo」のメリットやロングコラージュなどの新商品を中心に訴求いたしました。

利益面につきましては、画像加工部門のオペレーターを新卒を中心として積極的に採用したことやクラウドサービス利用料の増加により費用が増加したものの、順調な売上の計上によりセグメント利益は想定を上回りました。

以上の結果、売上高は781,837千円、セグメント利益は132,652千円となりました。

(フォトブック事業)

当事業では、プロフェッショナル写真家向け市場は「アスカブック」、一般消費者向け市場は「マイブック」ブランドで展開しております。また、スマートフォンで撮影された写真からフォトブックや写真プリントをOEM供給しております。

プロフェッショナル写真家向け市場では、主力であるウェディング向け写真集は、前期コロナ禍回復による好調だった反動に加え、特に6月度の全般的な売上の伸び悩みにより、売上は想定を下回る結果となりました。取組みとしましては、オンラインセミナーの実施や、「PHOTONEXT2024」への出展に加え、AI画像処理レタッチソフトの取扱いを開始いたしました。

一般消費者向け市場においても、海外旅行の回復遅れや撮影写真のアウトプット減少の戻りが遅れている状況が継続しており、自社ブランド「マイブック」、OEMとも売上は想定を下回りました。

利益面につきましては、原材料価格の高騰や人件費、減価償却費の増加などにより、セグメント利益は苦戦いたしました。

以上の結果、売上高は892,537千円、セグメント利益は98,817千円となりました。

(空中ディスプレイ事業)

当事業は、空中結像技術を用いた新しい画像・映像表現により市場を創造することを目指しており、独自技術により空中結像を可能にする「ASKA3Dプレート」について、ガラス製、樹脂製それぞれを開発、製造、販売しております。

営業面につきましては、国内は自社営業を主として、海外は代理店を主として販売を推進しております。国内におきましては、6月には「第15回 コンテンツ東京2024 先端デジタルテクノロジー展」に出展し、大型の空中結像デジタルサイネージを中心に空中ディスプレイの広告媒体としての魅力を紹介いたしました。また海外では、

7月に、タイのバンコクにて開催された展示会「InfoComm Asia 2024」に出展し、大型空中壁面サイネージなどを紹介いたしました。また、北米での販売網強化の模索や、欧州、東南アジアでの新たな代理店の開拓などを進めてまいりました。売上につきましては、自社営業による国内外向けの販売は一定の成果を上げたものの、海外代理店経由での販売は物足りない結果となりました。

製造・開発面につきましては、環境性能に優れた素材での製造開発を進めるとともに、自社技術開発センターでのガラス製ASKA3Dプレートは中型サイズプレートの製造品質の安定化を進めてまいりました。

損益面につきましては、専門人員採用による人件費の増加や海外出張の頻度が高まったことによる旅費交通費の増加などが見られたものの、セグメント損失は想定より若干縮小いたしました。

以上の結果、売上高は37,475千円、セグメント損失は85,100千円となりました。

以上の結果、売上高は1,710,415千円となり、利益面につきましては、フォトブック事業の利益が厳しかったことに加え、全般的な人件費の増加やクラウド利用料の増加、旅費交通費の増加などにより、経常損失は25,089千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は23,248千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ498,461千円減少し、6,591,983千円となりました。これは主に、現金及び預金が333,644千円、受取手形及び売掛金が63,245千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ162,887千円減少し、770,742千円となりました。これは主に、未払法人税等が73,779千円、賞与引当金が85,790千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ335,573千円減少し、5,821,241千円となりました。これは主に、剰余金の配当115,198千円、自己株式の取得200,316千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月10日に発表いたしました2025年4月期連結業績予想については、現時点において変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,665,015	1,331,370
受取手形及び売掛金	902,010	838,764
商品及び製品	648,580	617,890
仕掛品	68,847	69,346
原材料及び貯蔵品	102,728	95,414
その他	80,576	52,813
貸倒引当金	△9,851	△9,921
流動資産合計	3,457,907	2,995,679
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	831,048	818,040
機械装置及び運搬具（純額）	493,357	458,684
土地	844,060	844,060
その他（純額）	177,497	197,123
有形固定資産合計	2,345,964	2,317,910
無形固定資産		
のれん	298,891	289,250
その他	204,950	197,960
無形固定資産合計	503,842	487,210
投資その他の資産		
投資有価証券	571,582	574,989
その他	211,147	216,193
投資その他の資産合計	782,730	791,182
固定資産合計	3,632,536	3,596,304
資産合計	7,090,444	6,591,983

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	175,134	138,593
未払金	257,203	238,952
未払法人税等	85,473	11,693
賞与引当金	184,950	99,160
その他	223,527	275,361
流動負債合計	926,289	763,761
固定負債		
退職給付に係る負債	4,704	4,704
その他	2,635	2,276
固定負債合計	7,340	6,980
負債合計	933,629	770,742
純資産の部		
株主資本		
資本金	490,300	490,300
資本剰余金	626,380	626,380
利益剰余金	5,626,124	5,487,676
自己株式	△627,799	△828,115
株主資本合計	6,115,005	5,776,242
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,808	44,998
その他の包括利益累計額合計	41,808	44,998
純資産合計	6,156,814	5,821,241
負債純資産合計	7,090,444	6,591,983

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)
売上高	1,710,415
売上原価	991,809
売上総利益	718,606
販売費及び一般管理費	744,287
営業損失(△)	△25,681
営業外収益	
受取利息	991
受取配当金	950
その他	539
営業外収益合計	2,481
営業外費用	
為替差損	1,335
自己株式取得費用	540
その他	13
営業外費用合計	1,889
経常損失(△)	△25,089
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△25,089
法人税、住民税及び事業税	△1,840
法人税等合計	△1,840
四半期純損失(△)	△23,248
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△23,248

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)
四半期純損失(△)	△23,248
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	3,189
その他の包括利益合計	3,189
四半期包括利益	△20,058
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△20,058

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フューネラル 事業	フォトブック 事業	空中ディス プレイ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	781,837	891,102	37,475	1,710,415	—	1,710,415
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,435	—	1,435	△1,435	—
計	781,837	892,537	37,475	1,711,850	△1,435	1,710,415
セグメント利益 又は損失 (△)	132,652	98,817	△85,100	146,369	△172,051	△25,681

(注) 1 セグメント利益の調整額△172,051千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)	
減価償却費	88,732千円
のれんの償却額	9,641千円